

北海道サケネットワーク

ニュースレター 5

08. 10. 17

十勝で

08総会・サケ会議を開催

08. 10. 11

北海道サケネットワーク08総会、ならびに、北海道サーモン協会08サケ会議の合同会議が、10月11日、すばらしい紅葉に彩られた十勝のホテル大平原を会場に開催されました。

サケの最盛期の故か、参加団体9、参加者27名にとどまりましたが、地元会員の熱心なサポートもあり、両会議とも盛会裡に終えることができました。紙面を借りて、準備に、開催に、多大の配慮と尽力をいただきましたとかち・帯広サケの会、そして、サポートいただきました地元会員の皆さんに対し、厚くお礼を申し上げます。

会議の内容については、議事録を添付いたしましたのでご覧いただきますが、参考までに、次のことを摘記いたします。

北海道サケネットワーク08総会

過年度の報告、09年度の計画とも原案通りで承認されましたが、会の主目的である「情報交換活動」の実態について、08年度は会員からの情報提供が2、3件に過ぎなかったことが指摘されました。そのため、09年度の目標では、ネットワークによる情報交換・意見交換の促進を図るため、ホームページ利用の普及を浦野代表の担当として進めることになりました。一方、ネットワーク最大の特質は異分野の団体が集まっていることであり、お互いのどんな情報も新鮮であり、異分野理解の手がかりになることを確認し、今後も情報発信の促進を呼びかけることが重要との意思を確認しました。

北海道サーモン協会08サケ会議

1) 会員報告・情報交換

それぞれの活動状況について、活発な発言があり、参加者に感銘を与えました。ただ、今回は、途中での参加中止などもあり、産業界、行政分野などの参加がなく、ほとんど市民活動分野の参加となりましたことは話題の広がりから点からも残念でした。

2) 講演

熊とサケの知られざる生態に端を発し、生物進化の謎をかいま見るような観察結果など「サケ」にとどまらず、次々と展開する「データに基づく生物の不思議」が、分かりやすい話し口で紹介され、素人の参会者も熱心に聞き入る講演でした。それまでにも熱心な会議で時間が延び、質疑応答も開場時間に迫られ、十分にできなかった思いが残りました。

参加団体

1. 水産総合研究センターさけますセンター
2. とかち・帯広サケの会
3. 十勝川エコロジーパークガイドの会
4. 十勝川自然再生協議会
5. とかち帯広観光・体験ボランティアガイドの会
6. 大雪と石狩の自然を守る会
7. 安平町マチおこし研究所
8. 北海道サーモン協会
9. 北海道サケネットワーク